

シン破天荒

山崎編



保護者にも見せてくださいね

<https://www.hatenkou-ara.jp>

2学期が
今日
終了
します

山崎高等学校八十回生の皆さん、本校で送る九つの学期のうち、早や二つの学期を終えました。時が経つのは早いものです。

入学して以来、皆さんは得たもの、失ったもの、さてどちらが多いでしょうか。

二〇二五年の終わりに夢のない話をするのもなあとは思いますが、あつという間の二つの学期を過ごし、皆さんに残された学期が実は五つであるとも考えられることに気が付いてほしいのです。

なぜならば、残された学期は七つであり私たちもそうであつてほしいのですが、多くの人は三年生一学期までの成績を使って、自分の次のステップを手に入れようとしている現実があるからです。

皆さん、時はあつという間ですよ。だから、自分の「やる気」スイッチ・オンは「ハニ」ですよ。

熊

二〇二五年の最後に、自分の「いま」を知って、二〇二六年の始まりに目標を掲げるのではなくて、二〇二六年の始まりが、「あるべき」自分の本当の姿の始まりとなるように、準備をしてください。

二〇二五年の社会は、負の気持ちを感じさせる

が今年の一文字として表されました。

因みに、皆さんにとってはこの一年の自分を漢字一文字で表すと、どんな一字になりますか。

山崎高校新任の六十歳前の私にとっては、多くの

惑

を常に伴った日々でした。

環境が変わればそう感じるもので、ならば「どうする」を楽しむこともできたと思います。

変化はチャンス

変わるのは暦だけではなく、個々の変化をたくさん見られることを楽しみにしています。

皆さん、良いお年を

ところで、皆さんにとって今年を表す漢字一文字

は何でしょうか。少し書いてみませんか？

「表現」

することを求められます。

国語でもよく言われている、全体を

「鳥瞰」

することの大切さを、ここでも知ることができますよね。

今年で一度練習をしたので、ならば、

来年の目標で、より中身の深い漢字一文字を掲げてみましょう。

集約するには、多くの背景が思い浮かび、そこに自分が考える優先順位が付き、それを文章であつたり文字で

十二月十二日をもって五組担任の長生先生が産休に入られました。元気なお子さんの誕生をみんなで祈りましょう。

長生先生より

八十回生の皆さん、約八ヶ月間ありがとうございました。

妊娠を公表してからは、教室の変更を始めとして、皆さんに協力してもらった場面が多くありました。荷物を持つてくれた人、黒板を代わりに消してくれた人、「大丈夫ですか？」と声をかけてくれた人、ありがとうございました。優しく素直なところが、八十回生の良いところだと思います。その優しさを大切にして下さい。

一方で、もったいないと思うのは、効率を求めすぎるところです。目先の「楽」に囚われていませんか？ 答えを写したり、AIに課題をさせたりと、とりあえず今さえ乗り切れば良いという考えの人が多く見られる気がします。公共の最後の授業で「大人になるとはどういうことか」を考えましたね。私は、大人になるとは「自分で考え行動し、その責任を取れるようになること」だと思います。そうなるためには、何が正解か悩んだり、実際に行動してみても成功したり失敗したりする経験が必要です。効率の良さを求め、正解だけを求めているようでは手に入らないものが、皆さんを成長させてくれると思います。

学年の途中で離れてしまうことを申し訳なく、また寂しく思います。今後皆さんがどんなふう成長していくのか、少し遠くから楽しみに見守っています。

石田先生を お迎えして

八〇回生のメンバーに加わることで、とても光栄でうれしく思います。今まで関わってきた一年生は、部活動と玄関掃除を担当している五組のみなさんのみです。しかし、偶然にもその五組の担任になるとは、これも何かの縁と考えてしまいます。

もともと新しい出会いは大好きで、これからみなさんと話す機会が多くなると思うとワクワクします。これから少しずつですがみなさんのことを知っていききたいと思っています。

あまり私のことを知っている人は多くないと思いますので、簡単に私のことについて話したいと思います。

まず一つは、とにかく人の名前を覚えるのが苦手です。年齢とともにそうなっていくようですが、私の場合は昔からです。これから万が一、名前を間違えることがあったとしたら、また忘れてそうな顔をしている時（ただ顔を見つめている）は、やさしく名前を伝えてください。きっと覚えていくと思います（そう願う）。

二つ目は、今まで、自分の持つクラスの電波時計だけがすべて調子が悪くなることです（止まってしまふ）。別の時計を変えてもらっても同じ現象になります。いったん別の部屋に置いておくと正常に動き出します。一回か二回なら偶然だと思のですが、ずっとなので、また同じことにならないか心配です。何か見えないものを発しているのでしょうか。わかる人は教えてください。

このようなわたしですが、今後ともどうぞよろしくお願いします。

学年英単語コンテスト 鳥獣戯画英単語百問の乱

十一月二十六日水曜日のLHRの時間に、クラス対抗英単語コンテストを実施し、十二月三日水曜日のLHRに表彰を行いました。



真面目な受験風景

表彰式 総合優勝は五組 ドッジボールのリベンジでした



クラス対抗戦は、当日に受験者した生徒の得点合計で競いました。なお、各クラス得点一位の生徒にも表彰しました。何でも競争しましょう。

各クラス第一位

- 一組 庄 琉瑛音
 - 二組 志水 佑麻
 - 三組 中島 蓮
 - 四組 松井 絵奈
 - 五組 立花 優和
- なお、一名は百点満点でした。

一月の予定

- 一日(木) 元旦
- 五日(月) 仕事始め
- 八日(木) 始業式
- 九日(金) 課題考査
- 十二日(月) 成人の日
- 十四日(水) 防災学習(6限 同窓会館)
- 十六日(金) 1・17追悼行事 教育相談
- 十七日(土) 二年 修学旅行(十九日まで)
- 十七日(土) 三年 共通テスト激励会
- 十七日(土) スキー実習(教育類型)
- 十七日(土) 共通テスト
- 二十一日(木) 課題研究発表会(森と食料)
- 二十三日(金) 教育相談
- 二十四日(土) ベネッセ総合学力テスト
- 二十八日(水) 進路マップ
- 三十一日(土) 学年進路行事(五・六時間目)
- 三十一日(土) 山高街の駅④



岡山大学訪問

期末考査直後の十二月十二日金曜日に、岡山大学訪問を実施しました。引率は、副主任の武友先生と進路指導部の前野先生でした。訪問を希望した生徒達の参加でしたが、生徒たちの心に突き刺さったものがこれからの姿に反映されればと思います。

大学の食堂もどうか。それ以上に、突然のグループ発表などよく対応しましたね。

目指すことは、前向きな強い気持ちを必ず持てるとは限りません。辛い結果を打ち破る強い気持ちが必要です。

願わくは「きっかけ」となる大学訪問であつたと、将来に振り返ることができるよう、祈っておきたいと思います。



今回岡山大学を訪れて、大学での学び方について新しい発見があった。国公立大学では、学生に対する教師の数が私立大学よりも多く、より手厚く教えてもらえたり、学費が安いので、メリットが大きいと聞いた。

また、岡山大学では異なる学部の学生達で一つのグループとなって、一つの議題について話し合うという時間が取られていることが、特に印象に残った。同じテーマでも、考え方や視点が異なる話し合いができるのは面白いと思った。

自分が目指している動物系の仕事について学べる学科はないが、大学のことを詳しく調べるのに良かったことになった。狭き門で大変な仕事ではあるが、その分やり甲斐があり面白い仕事だと思う。だからあきらめずに夢を叶えたい。

今回の訪問を通して、大学では専門的な知識を学べるだけでなく、たくさんの方の考えを知りながら学べることを知った。将来どんな仕事に就いても、広い視野を持ち、周囲と協力することは必要だと思う。自分の将来を考えるためにも、今回の訪問は意味のあるものだった。

岡山大学での学びの雰囲気を実際に感じることでできて本当に良かった。

(四組女子)



今回岡山大学を訪問して、大学の雰囲気や学びの環境を実際に知ることができて、とても貴重な体験になった。

キャンパスは想像していた以上に広く、緑も多くて落ち着いた雰囲気があり、学生が集中して学びや研究に取り組める環境が整っていると感じた。

大学の説明では、岡山大学が教育だけでなく研究活動にも力を入れていることや、地域社会と連携をした取り組みを積極的に行っていることを知った。

大学は講義を受けるだけの場所ではなくて、自分の興味や関心を深めながら、社会に貢献できる力を身に付ける場であることを感じた。

また、実際に大学で学んでいる学生の話を聞くことで、大学生活の具体的なイメージを持つこともできた。

自分で考え行動する力が求められる一方で、その分やり甲斐や達成感を大きく得られることもとても印象に残った。

今回の訪問を通じて、将来の進路について大学で何を学びたいのかを改めて考えるきっかけになりそうだ。

この経験を活かして、今後は日々の学習にもより一層前向きに取り組んでいきたいと思った。

(三組男子)



避難訓練 および 防災体験防災学習

十二月十六日火曜日。午前九時過ぎに森林等から火災が発生したとの発出のもと、避難訓練が行われました。初めての旧グラウンドへの移動でしたが、生徒たちは寒い中できばきと動いたと思います。



九時五十分からは、五十分ずつで二つの班に分かれて、ロープ結び体験と土嚢作り体験をしました。ロープ体験は中学校でも体験したものがあるようですが、新鮮な気持ちで真面目に取り組んでいました。



土嚢作りは、なかなかイメージしきれないところもありましたが、積極的に作業に取り組む姿は微笑ましいものがありました。



最後のご褒美の豚汁は美味しかったですか？



以下、生徒の感想です。

今日防災体験をして、ロープワークが難しかったと感じました。全部したことがない結び方で、とても難しかったです。

ですが、今日この体験をして少しでも災害のときに役立つことが学べてとても勉強になりました。災害のときは一つの工夫で役立つこともあるんだと思いました。

(二組 女子)

今日防災訓練をして、ロープの結び方や土嚢の積み方による川の水の防ぎ方を学びました。

ロープの結び方は、年に二回ぐらいキャンプをしているので大変勉強になりました。

土嚢は、テレビでボランティアさんがしているイメージで実践してみると、一つ積み上げるのも本当に疲れてしまいました。

この学習をい活かして、守られるのではなく、人を守るように成長していきたいです。

(二組 女子)

ヒモの括り方や土を袋に入れる作業をと思ったことは、これが現実で起こると一〇〇%しんどいなと思いました。

避難先で救助をして人の役に立てる人になりたいです。

僕の夢は警察官です。

(二組 男子)

もし 災害が起きてしまったときの行動が分からなかったで、今日学んだことが将来役に立つので良かったです。

ロープにもいろいろな結び方があり、状況に合わせて使い方を覚えるというのが凄く工夫されていると思いました。忘れないように一か月に一回くらいは実践してみたいと思います。

大切なことを知ることができて良い授業であったと思います。

(五組 女子)

この一学期 二学期末編

入学時	『縁』
五月	『探』
六月	『声』
七月	『触』
一学期末	『律』
二学期始	『笑』
十月	『育』
十一月	『強』
十二月	『感』
二学期末	『動』

「感」とくれば「動」の使い廻しでごめんなさい。

もう三十年にもなりますが、「阪神淡路大震災」が発生した二日ほど前に、神戸製鋼ラグビー部が七年連続日本一を達成しました。

当時は未曾有の自然災害と言われていたのに、今や毎年のように・・・。

が、話のメインではなく、その神戸製鋼の連覇が始まったときにはプレイヤーで、その前まで主将をされていた、林正史さんが書かれた本のタイトルが

感 即 動

でした。漢文でも習っていますよね。「感」じないと始まらないし、「即」でないと意味がない。

来年はさらにこんな一年となりますように。